

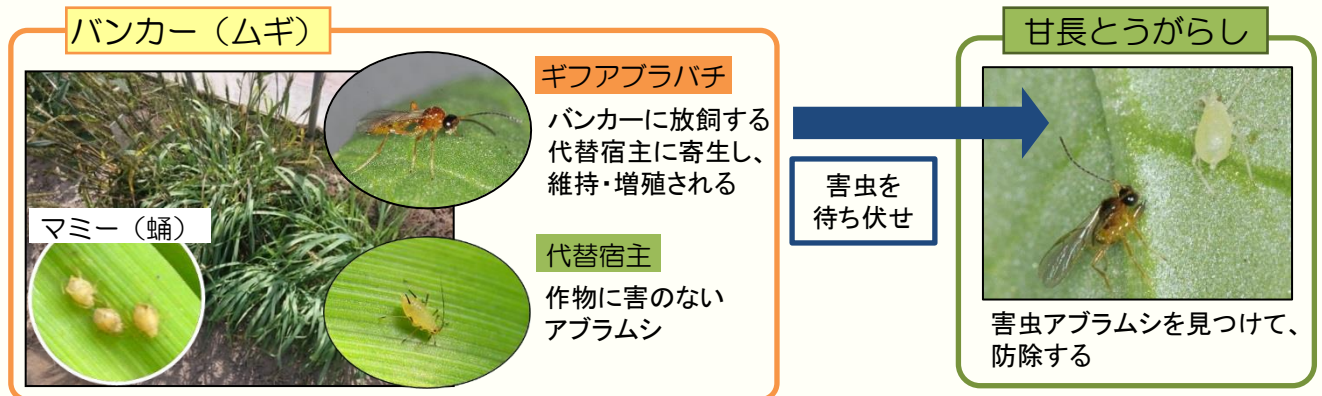
# 天敵「ギフアブラバチ」と「コレマンアブラバチ」を利用した 甘長とうがらしのアブラムシ防除法を開発しました

甘長とうがらしでは、アブラムシ類の被害が問題となっています。

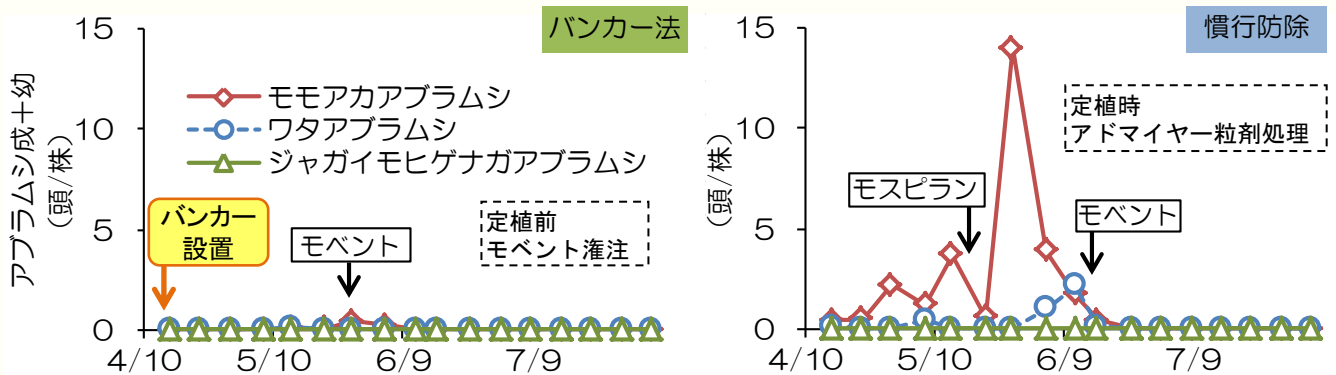
主要アブラムシ(3種)の中には、殺虫剤が効きにくくなっているものもあり、殺虫剤のみに頼らない防除が求められています。

そこで、アブラムシ類の天敵(「ギフアブラバチ」と「コレマンアブラバチ」)を用いたバンカー法※による防除法を開発しました。

※バンカー法:バンカー植物(ムギなど)を用いて、天敵を維持・増殖する方法。



バンカー法によるアブラムシ防除



## バンカー法によるアブラムシ類に対する防除効果

バンカー法では、「ギフアブラバチ」と「コレマンアブラバチ」のバンカーを4月10日に設置

### (研究成果)

- 「ギフアブラバチ」と「コレマンアブラバチ」をバンカー法で併用することにより、甘長とうがらしで問題となる主要アブラムシ3種の発生を長期間抑制できます。
- バンカー法では天敵の大量放飼や複数回放飼が必要ないため、低コストとなります。
- 「ギフアブラバチ利用技術マニュアル」内で、甘長とうがらしにおける利用方法を解説しました。マニュアルは、農研機構ホームページから、ダウンロードできます。

([http://www.naro.affrc.go.jp/publicity\\_report/publication/laboratory/vegetea/pamph/061908.html](http://www.naro.affrc.go.jp/publicity_report/publication/laboratory/vegetea/pamph/061908.html))